

【第3回】退職・雇止めと在留資格の基本

日本で働く中で、「契約を更新しないと言われた」「仕事を辞めたいが不安」「在留資格はどうなるのか分からない」といった悩みを抱える方は少なくありません。

退職や雇止めは、仕事だけでなく生活にも大きく影響します。

ここでは、退職や契約終了の際によくある質問と、その対応方法について分かりやすくまとめました。

安心して次のステップに進むための参考としてご活用ください。

仕事を辞めるとき・契約が終了するときに知っておきたいポイント

Q1

契約を更新しないと言われました。どうすればいいですか？

A1

まずは契約書を確認し、契約期間や更新の条件を把握しましょう。そのうえで、会社に更新しない理由や今後のスケジュールを確認することが大切です。生活に影響が出る場合は、早めに次の仕事を探し始めることが重要です。

Q2

突然「明日から来なくていい」と言われました

A2

突然の解雇や雇止めにはルールがあります。まずは契約内容を確認し、会社に理由や手続きについて説明を求めましょう。やり取りの内容は記録しておくことが大切です。納得できない場合は、労働基準監督署などへの相談も検討できます。

Q3

自分から仕事を辞めたい場合はどうすればいいですか？

A3

退職する場合は、契約書や就業規則に記載された手続きに従い、会社に意思を伝える必要があります。一般的には一定期間前に申し出ることが求められます。無断で辞めるとトラブルになる可能性があるため、順序を守って進めましょう。

Q4

仕事を辞めたらすぐ帰国しないといけませんか？

A4

すぐに帰国する必要はありませんが、在留資格の内容によっては活動状況が確認される場合があります。退職後はできるだけ早く次の仕事を探し、状況に応じて必要な手続きを進めることが大切です。

Q5

新しい仕事が見つからない場合はどうすればいいですか？

A5

ハローワークを利用することで仕事探しのサポートを受けることができます。また、在留資格の条件によっては変更が必要になる場合もあるため、早めに相談しながら対応を進めることが重要です。

Q6

退職後に必要な手続きはありますか？

A6

健康保険や年金、住民税などの手続きが必要になる場合があります。また、離職票などの書類を会社から受け取ることも重要です。必要な書類は忘れずに確認しましょう。

Q7

有給休暇は退職前に使えますか？

A7

有給休暇が残っている場合、退職前に取得することが可能です。取得方法については会社と相談し、計画的に利用することが大切です。

Q8

会社とトラブルになっています。どうすればいいですか？

A8

まずは状況を整理し、契約内容や事実関係を確認することが重要です。やり取りの記録を残し、必要に応じて外部の相談機関を利用することで、解決につながる場合があります。

Q9

次の仕事が決まるまで生活が不安です

A9

収入が途切れる可能性があるため、できるだけ早く次の仕事を探すことが重要です。また、自治体の支援制度や相談窓口を利用することで、生活面の支援を受けられる場合もあります。

一人で抱え込まず、早めに状況を確認し、必要な手続きを進めることが大切です。
安心して次のステップに進むためにも、周囲の支援や相談窓口を活用していきましょう。